

# 音環境の面からのまちづくり

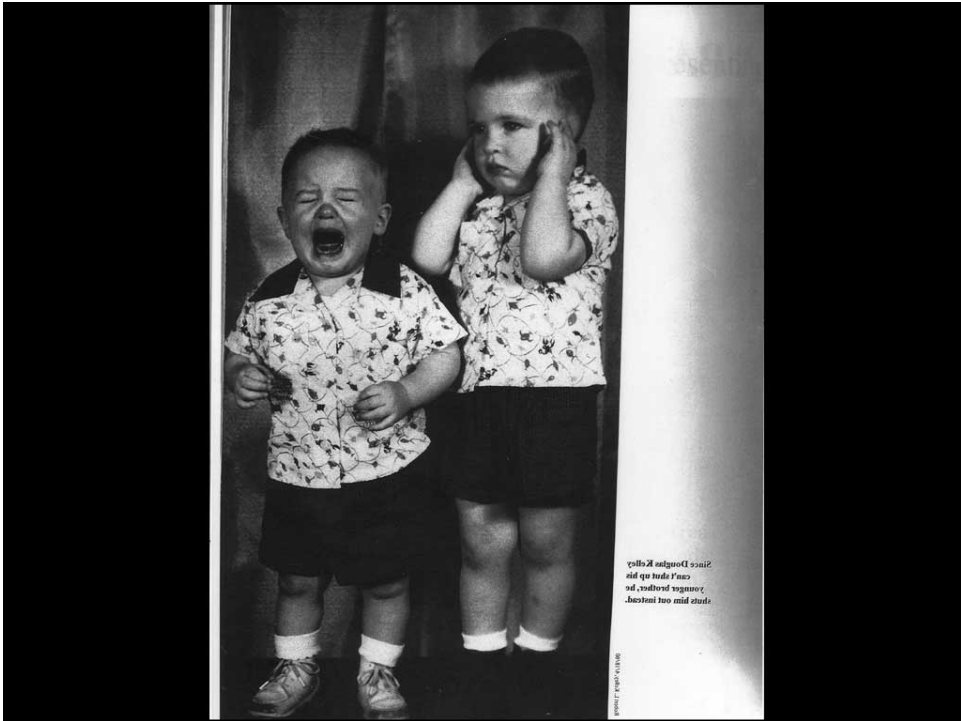
財団法人小林理学研究所理事長

山下 充康

## 寝耳・聞き耳・地獄耳 【音環境の保全と日本人の音感覚】

総ての音は騒音になり得る。音楽でさえも。  
音はすべからず謙虚であるのが望ましい。  
どんな音でも押し付けがましいと嫌われる。

1. 刺激要素としての音  
聴覚特性と音の物理特性
2. 音感覚の利便  
マスキング効果とカクテルパーティー効果  
効果音の役割。視覚的音感覚。
3. 騒音  
「さわがしくやかましい音。ある目的にとって不必要な音、障害になる音。」  
好きか嫌いか・敵か味方か・正か邪か・善か悪か……
4. 音の記憶  
音遊び・玩具と音・幼児期から老齢期まで。
5. 日本人の音感覚  
街道版画の人気を支えた音感覚。日本語の音表現。



## 騒音評価指標の移り変わり

- 1971年(昭和46年) 環境庁を設置。  
「公害対策基本法」の規定に基づき「騒音に係る環境基準」が制定される。
- 1973年(昭和48年) ISO R 1996: 等価騒音レベル $L_{eq}$  が国際規格(ISO)に格上げの動き。
- 1978年(昭和53年) 国際規格(ISO)に等価騒音レベルが騒音の評価指標として全面的に採用される。
- 1983年(昭和58年) JIS Z 8731 騒音レベルの測定方法の改定。等価騒音レベルの導入。
- 1999年(平成11年) 四月一日、環境基準の改定。
- 2001年(平成13年) 環境庁を改組し、環境省を設置。
- 2007年(平成19年) 航空機騒音に係る環境基準の改定。  
(時間帯補正等価騒音レベル $L_{den}$  の導入)

表1 [騒音階級試案]

騒音階級	名稱	解説	騒音単位との比較 (P) ホン
0	無音	殆んど聞えず (耳の最低可聴値附近)	20 以下
1	微音	音微か (ささやきの聲程度)	20— 40
2	弱音	音弱し (普通會話可能程度)	40— 60
3	中音	音やや大 (普通會話困難程度)	60— 80
4	強音	音相當大 (會話に大聲を要する程度)	80—100
5	激音	音激し (リベット打の音)	100—120
6	轟音	耳痛し(痛覺の領域)	120 以上

[註] (イ) 階級の呼稱は必要なる場合には騒音1,騒音3等の如く[騒音]の二字を冠し使用する。

(ロ) 海軍に於て採用試行の騒音単位は 1000<sup>00</sup>の純音 0.0002 バーの音壓を 0 P の單位とする國際單位であり、海軍では記號 P を用ふる。

## ○音と遊び

楽器	擬音	意外性	補助的な音(音がしないと魅力が半減する。)
太鼓	鳩笛	デンデン太鼓	めんこ
笛	鶯笛	ビヨビヨサンダル	剣玉
拍子木	バードコール	ピンザサラ	コリントゲーム
鈴	テップウ	糸電話	風のうなり
ラッパ	蟬	ホース	ポーリング
がらがら	声	コマ	かたかた
オルゴール		クラッカー	花火
かんしゃく玉		鶯張りの床	
		鳴き竜	
		ししおどし	
		水琴窟	

## ○音との付き合い

宗教における音、音霊(オトダマ)、釜鳴りの神事、魔除けの音、耳塞ぎ餅

## ○天忍穂耳尊(アマノオシホミノミコト)

## ○老子[姓は李、名は耳、字名は伯陽、陳の人なり]





# 残したい「日本の音風景100選」の分布

三穂川のせせらぎとカジガエル（鳥取県/三朝町）  
水鳥公園の渡り鳥（鳥取県/米子市）  
因州紙の紙すき（鳥取県/青谷町、佐治村）  
琴ヶ浜海岸の鳴き砂（鳥取県/仁摩町）  
新庄宿の小川（岡山県/新庄町）  
真話宿・備中川のせせらぎと水車（岡山県/北房町）  
千光寺響音楼の鐘（広島県/尾道市）  
広島市の平和の鐘（広島県/広島市）  
山口鐘のS.L.（山口県/小郡町、島根県/津和野町間）  
鳴門の渦潮（徳島県/鳴門町）  
阿波踊り（徳島県/徳島市他）  
真備宿のゆめめきとせせらぎ（香川県/高松市）  
大塚寺の鐘とお瀬高さんの鈴（香川県/高松市）  
道後温泉旅館の料太鼓（愛媛県/松山市）  
室戸岬・御所入島の波音（高知県/室戸市）  
観世音寺の鐘（福岡県/太宰府市）

福島県のヒシクイ（新潟県/鹿沼市）  
尾山のヒメハルゼミ（新潟県/籠生町）  
狹名滝（富山県/立山町）  
井波の木彫りの音（富山県/井波町）  
エンナカの波音とおら風の鼓（富山県/八尾町）  
本多の草の舞踊音（石川県/金沢市）  
寺町寺控の鐘（石川県/金沢市）  
瀬島の時水（福井県/武生市）

鶴居のタンチュウサンクチュアリ（北海道/鶴居村）  
大雪山越後の山の生き物（北海道/東川町）  
函館ハリス正夜金の鐘（北海道/函館市）  
オホーツク海の流水（北海道/オホーツク海沿岸）  
峠杉台の鐘（北海道/札幌市）



富士山麓・西洞岬の野鳥の森（山梨県/足和田村）  
塩瀬の小鳥のさえずり（長野県/岡谷市、塩尻市）  
八島温泉の蛙鳴（長野県/下諏訪町、諏訪市）  
善光寺の鐘（長野県/長野市）  
菅田川の川遊び（岐阜県/八幡町）  
長良川の緑陰（岐阜県/岐阜市、関市）  
御建の町の水琴窟（岐阜県/美濃市）  
遠州灘の梅鳴・鼓小僧（静岡県/遠州灘）  
大井川鉄道のS.L.（静岡県/本川根町）  
伊良湖輝煌輝々・新の宿屋（愛知県/瀬尾町）  
東山権物園の野鳥（愛知県/名古屋市中区）  
伊勢志摩の海女の磯音（三重県/鳥羽市、志摩町）  
三井の鉄鐘（滋賀県/大津市）  
彦根城の梅枝鐘と虫の音（滋賀県/彦根市）  
るり浜（京都府/船場町）  
野引坂の鳴き砂（京都府/船場町）  
京の竹林（京都府/京都府）  
常光寺境内の阿内音頭（大阪府/八尾市）  
淀川河川敷のマツ市（大阪府/大阪市）  
瀬のけんか祭りのだしり太鼓（兵庫県/姫路市）  
船水論議のイカゴ音（兵庫県/神戸市）  
華日野の鐘と鐘の音（奈良県/奈良市）  
不動山の巨石で聞こえる紀ノ川（和歌山県/橋本町）  
那智の滝（和歌山県/那智勝浦町）

鳥入瀬の清流（青森県/十和田市）  
八戸港・漁舟のウミネコ（青森県/八戸市）  
小川原湖畔の野鳥（青森県/三沢市）  
ねぶた祭・ねぶたまつり（青森県/青森市、弘前市）  
磐石海岸・響道（岩手県/大畑郡）  
チャグチャグ馬コの手音（岩手県/滝沢村）  
水沢駅の南部風鈴（岩手県/水沢市）  
北上川河口のヨシ原（宮城県/北上町）  
伊豆沼・内沼のマガシ（宮城県/登米町、若柳町、追分町）  
宮城野のフェリス（宮城県/仙台市）  
広瀬川のカジガエルと野鳥（宮城県/仙台市）  
風の松原（秋田県/能代市）  
表上川河口の白鳥（山形県/酒田市）  
山寺の輝（山形県/山形市）  
松の輪漕の法儀員（山形県/鶴岡市）  
福島市小鳥の森（福島県/福島市）  
大内宿の自然湧水（福島県/下郷町）  
からむし織のはた音（福島県/昭和村）  
五濠海岸の波音（茨城県/北茨城市）  
太平山あじさいの雨庭（栃木県/栃木市）  
光華平の水琴窟（群馬県/吉井町）  
荒川・野田の虫の音（埼玉県/江戸市）  
川越の時の鐘（埼玉県/川越市）  
麻績原のヒメハルゼミ（千葉県/大多喜町）  
磯城の浪花（千葉県/佐原市）  
成狭学園ケヤキ並木（東京都/杉野町）  
上野の赤山の時の鐘（東京都/台東区）  
三堂寺の鐘とせせらぎと野鳥の音（神奈川県/相模原市）  
横浜港新年を迎える船の汽笛（神奈川県/横浜市）  
川崎大橋の夢道（神奈川県/川崎市）

博多距離山笠の長き山笠（福岡県/福岡市）  
関門海峡の潮騒と汽笛（福岡県/北九州市、山口県/下関市）  
伊万里の鐘物の音（佐賀県/伊万里市）  
清瀬くんの奥山囃子（佐賀県/唐津市）  
山王神社被褥の櫓の音（長崎県/長崎市）  
五和の海のイルカ（熊本県/五和町）  
瀬原橋の鼓水（熊本県/矢部町）  
小瀬田風山の唐臼（大分県/日田市）  
阿蘇峰の松原（大分県/竹田市）  
えびの楽園の野鳥音（宮崎県/えびの市）  
三之宮峽の梅の轟（宮崎県/小林市）  
出水のフル（鹿児島県/出水市）  
千穂川の清流とトロッコ（鹿児島県/屋久町）  
後良川河口の遊樂帯林の生き物（沖縄県/竹富町）  
エイサー（沖縄県/与那城町、那覇市）

## オホーツク海の流水（北海道/オホーツク海沿岸）



## 出水のツル(鹿児島県/出水市)



## 音源種別 「音風景百選」

音源種別	応募総数	選定数
生き物	208	31
鳥の声	93	12
昆虫の声	40	7
カエルの声	23	2
その他の動物	13	2
植物	29	5
これらの複合	10	3
自然現象	164	19
川、滝等陸水の音	93	10
波等海の音	41	9
その他の自然現象	21	0
これらの複合	9	0
生活文化	291	37
祭り等行事の音	69	9
鐘等信号的な音	65	10
産業・交通の音	74	11
その他の生活文化	73	6
これらの複合	10	1
以上の複合音	52	12
その他(静けさ、分類不能等)	23	1
合計	738	100

# まとめ

にぎわい

静けさ



やかましさ  
・音情報取得の妨げ

寂しさ



解決に向けての一案として...

静穏特区の創造